

2019.9

Editor

日本保全学会
東北・北海道支部
広報・会員委員会

Contact

Mail :
north.com@jism.or.jp

Tel & Fax :
022-211-9889

Address :
〒980-8579
仙台市青葉区荒巻字青葉
6-6-01-2

東北大学 大学院工学研究科
量子エネルギー工学専攻内

URL :
www.jism.or.jp/branch/index.html

日本保全学会第16回学術講演会 「企画セッション：保全現場からの声」のご報告

日時：令和元年7月26日（金）

場所：リンクステーション青森

原子力安全のより一層の向上を目指し、現場第一線で活躍する若手技術者らの保全に関する技術力の向上と現場への浸透を図る目的から、企画セッション『保全現場からの声』が催された。セッションは東北・北海道支部メンバーを中心として構成された現地実行委員会の提案により企画されたものである。エンジニアリング会社あるいは工事会社の若手技術者が参加して、午前のセッション5件、午後のセッション4件に分かれて、保全技術に関する日頃の取り組みを紹介した。

【午前の部】



吉田秀一郎 氏（東北発電工業）

女川原子力発電所における電動機油脂補給情報管理システムの開発についての報告。QRコードと音声認識入力を活用したシステムを開発・導入したことにより、点検記録の作成と管理に関する業務が大幅に効率化された。

大坂拓未氏（北海道パワーエンジニアリング）

給排水処理設備一括受託の実施についての報告。北海道電力・北海道パワーエンジニアリング間のサプライチェーン管理の観点から両者の業務範囲を見直したことにより、電力会社側には保修課員の業務効率化、エンジニアリング会社側には業務範囲の拡大に伴う技術力向上といったメリットが生まれたことが、業務の改善事例2件とともに紹介された。



宇川祐丞 氏（日鋼検査サービス）

ボイラ管への各種内挿UTの適用事例を報告。まず、二胴曲管水管ボイラの内挿UTに関して、マルチチャンネル化による検査速度の大幅な向上とテーパー部の検査技術開発が報告され、次に、ボイラ深層部伝熱管への内挿UTの適用事例が紹介された。今後の課題として、膨大な検査データ解析の効率化が挙げられた。

沼沢怜奈 氏（ジェイテック）

日本原燃六ヶ所再処理工場における内部被ばく評価のための定期バイオアッセイ分析技術の改善についての報告。ウランおよびプルトニウム取り扱い従事者を対象とした抽出により、バイオアッセイ法を用いて α 核種 U-234,235,238 の分析が行われているが、放射能分析作業の負荷が大きいことが課題であった。スクリーニング手段として IC PMS による質量分析を導入することによって、放射能分析を必要とする検体数を大幅に減少させることができ、検査の抽出者数を3倍程度に増やすことができた。



2019.9

Editor

日本保全学会
東北・北海道支部
広報・会員委員会

Contact

Mail :

north.com@jism.or.jp

Tel & Fax :

022-211-9889

Address :

〒980-8579

仙台市青葉区荒巻字青葉

6-6-01-2

東北大学 大学院工学研究科

量子エネルギー工学専攻内

URL :

www.jism.or.jp/branch/index.html



神谷亮輔 氏 (青森日揮プラントック)

保守管理技術向上のための技術者育成の取り組みに関して、資格取得の奨励、自前の訓練設備の製作・運用、業務支援ツール活用の検討の3点を報告。

訓練設備としては、水循環系設備の設計・製作・改良の状況ならびに訓練での運用実績が紹介し、業務支援ツールとしては、スマートグラスの活用を検討している状況が報告された。

【座長：渡邊 豊、松田 孝司】

【午後の部】

松本 亮 氏 (六ヶ所エンジニアリング株式会社)

治工具製作による保全現場カイゼンの取り組みについて報告。雑固体ドラム缶固縛専用治工具製作による蓋開閉の効率化、Vパッキン取り外し用工具の改善についての発表。



岩崎恵志 氏 (ATOM Works株式会社)

六ヶ所再処理工場の保全体制強化への取り組みについて報告された。計装設備保全技術者の養成と対応可能工種の拡大、不具合対応ノウハウの構築等これまでの取り組みと今後の取り組みについてを報告。

神保吉秀 氏 (中部プラントサービス)

回転機のグリス補給作業最適化の取り組みの報告。グリス補給によって変化する軸受け音を可視化することにより、経験と勘で実施されていたグリス充填を標準化することができたと紹介。



井上晴久 氏 (四電エンジニアリング株式会社)

伊方発電所で実施した安全対策工事についての報告。当社は伊方発電所において低圧給水加熱器の取り換えを始め各種工事の設計、工事を実施してきており福島第一原発事故以降においても各種安全対策工事实施の紹介。

【座長：橋爪 秀利、伊原 一郎】

2019.9

Editor

日本保全学会
東北・北海道支部
広報・会員委員会

Contact

Mail :

north.com@jsm.or.jp

Tel & Fax :

022-211-9889

Address :

〒980-8579

仙台市青葉区荒巻字青葉

6-6-01-2

東北大学 大学院工学研究科

量子エネルギー工学専攻内

URL :

www.jsm.or.jp/branch/index.html

全体発表終了後、表彰委員会により最優秀賞に青森日揮プランテック（株）『保守管理技術向上のための技術者育成の取り組み』、優秀賞に株式会社ジェイテック『質量分析法を用いた再処理工場の定期バイオアッセイ分析の改善』が選ばれ、学術講演会実行委員長の北海道大学名誉教授杉山憲一郎氏より表彰されました。



【表彰式の様子】

